

平成28年度学校評価のまとめ

1 学校評価のねらい（学校としての受け止め）

- (1) 地域に信頼と支援を受け、生徒が楽しく通う学校をつくるため。
- (2) 評価を通して、学校教育の見直しを行うため。
- (3) 新しい学校像を築くための参考資料とするため。

2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者の別、回数、方法等）

○ 自己評価 2回 アンケートによる

○ 学校関係者評価 ・学校評議員 1回 アンケートによる

○ 第三者評価 なし

○ 「満足度」で結果を提示。

「よくあてはまる」9割以上＝2点、「ややあてはまる」6割以上9割未満＝1点、「あまりあてはまらない」3割以上6割未満＝－1点、「あてはまらない」3割未満＝－2点の4段階で実施。集計結果を得点化し、満足度とした。

○ 学校評価検討部会を設置し、担当部会毎に「成果」「課題」「改善策」を検討。

○ 校内研修において、全職員で次年度に向けた改善策を協議。

○ 学校だより、ホームページで結果を公表。

○ 第2回の学校評議員会において、学校評価結果をもとに本校の課題改善へ向けて方策を中心に協議するとともに、指導・助言をいただく。

評価の結果

(1) 主な指標の変化

○ 「学校が好きだという生徒が93，8%が87，0%に下がった」

- 「意欲を持って授業に参加し発言や発表してますか86, 8%であった」
- 「授業は楽しくわかりやすいですか(生徒)が82, 6%から89, 4%に上がった」
- 「いじめを、しない、させない、ゆるさない」ように生活していますが96, 3%と高い数値を示した。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

- 教職員に対してのアンケート調査の結果「校長の経営理念の下、学校教育目標の具現化に向けた取り組みが実践されている」の結果は100%の職員が7割以上満足していると答えた。
- 学校教育目標の学習の項目では、授業で力がついたと実感できた生徒の数値が83, 1%の生徒が満足したと答えた。判断力の項目では「あなたのお子さんはテレビゲーム・ケータイ等の使用 時間や約束を守ることは適切に行われているは61, 8%から66, 0%と上がったが」。この数値を来年度も課題として取り組んでいく。思いやりの項目では、あなたは、「いじめを、 しない、させない、ゆるさない」ように生活していますかが86%から96, 3%にあがった」。がいじめの事実は数件合ったが現在は解消している、数値が低下しないよう取り組んでいく。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

- 教職員に対してのアンケート調査の結果「研修課題を明確にし、実践的な授業研究が組織的、継続的に実施されるなど、授業の工夫・改善が図られている」の項目では、満足度6割以上の値が85%であった。今年度は93, 3%で上昇した。「わかる授業を目指してねらいを掲示し発問や板書、指導方法を工夫している」の項目では、全員の職員が9割以上満足の回答であった。

4 次年度に向けての展望

- 学校評価を項目別に示し課題を明確にし来年度への取り組みを検討する。
- 今年度も学校評価については、校内研修で共通理解を図り、学校評価検討部会の基本的考え方を今年度の校務分掌を基本として、運営委員が担当部会ごとに分析し、「具体的な改善策」を職員会議等で提案し来年度取り組みの柱とする。
- 保護者へ評価結果をよりスムーズに広報し、さらなる改善・充実に向けて全教職員で取り組む。
- 学校運営協議会からの意見を実践できるよう、信頼される学校づくりをめざし、日々の学校教育活動を推進していく。